

かにえ 議会だより

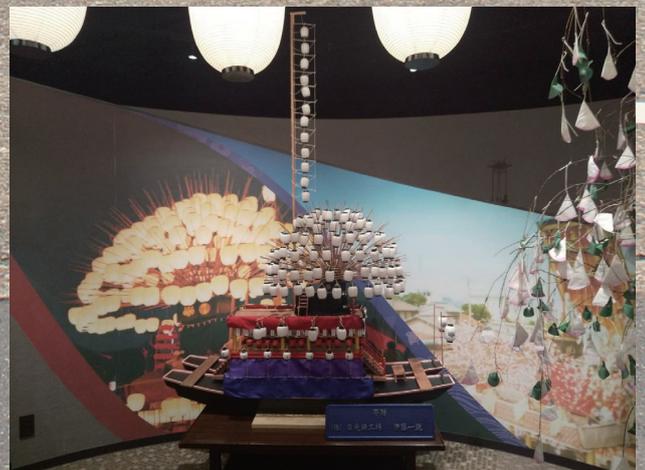
No.

182

2022.11.1
(令和4年)

9月定例会特集号

- 一般会計はじめ8会計
令和3年度決算を認定 …………… 2
- 海翔高校に関する請願を継続審査に
9月定例会のあらまし …………… 4
- ここが知りたい!
一般質問 …………… 6
- より伝わる議会だよりをめざして
議会広報研修会に参加しました …… 11



まきわらぶね
寄付があった巻藁船の模型

各会計決算総括表

(単位:円)

会計名		歳入決算額	歳出決算額	差引残額	
一般会計		14,040,283,699	13,411,368,033	628,915,666	
特別会計	国民健康保険事業	3,470,963,527	3,320,953,205	150,010,322	
	土地取得	251,877,059	251,877,059	0	
	介護保険管理	2,989,913,306	2,850,250,144	139,663,162	
	コミュニティ・プラント事業	14,249,616	12,636,597	1,613,019	
	後期高齢者医療保険事業	951,984,463	942,364,095	9,620,368	
一般会計・特別会計 合計		21,719,271,670	20,789,449,133	929,822,537	
企業会計	水道事業	収益的収支	764,395,738	657,386,517	107,009,221
		資本的収支	99,307,600	405,237,743	(※1)▲305,930,143
	下水道事業	収益的収支	699,617,628	503,847,247	195,770,381
		資本的収支	1,444,396,900	1,585,166,654	(※2)▲140,769,754

- ※1 資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、過年度分損益勘定留保資金、当年度分損益勘定留保資金、過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、建設改良積立金で補てんした。
- ※2 資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び引継金で補てんした。

監査委員による一般会計・特別会計の決算審査意見書(抜粋)



西尾重義代表監査委員

実施した事業の効果を検証し、次の事業へ

事務事業等は、いずれも関係法令及び議会の議決の趣旨に沿い、概ね適正に執行されており、その内容は適切である。

主要な財源である町税の収入未済額は7079万5千円で、前年度に比べて1368万8千円減少している。国民健康保険税の収入未済額は9283万5千円で、前年度に比べて1464万2千円減少している。滞納整理事務も順調に行われており、今後も引き続き、税の徴収の公平性を保つためにも、税の徴収を適正に行うことを望む。

歳出について、主要な成果である自由通路等整備事業などの大型事業が完了し、新型コロナウイルス感染症対策げんき商店街推進事業費補助金として、プレミアム商品券発行事業を支援し、地域経済の発展及び活性化に貢献した。また、各施策事業として、まち・ひと・しごと創生事業として予算配分され、創生総合戦略の基本理念に基づき、所期の目的を達成し、的確に執行された。今後は、これらの事業効果の検証を進め、次の事業につなげてほしい。

国では、働き方改革を進めており、職員の健康管理の面においても、時間外勤務や有給休暇の管理を的確に行うように、職場環境の整理を行ってほしい。

最後に、今後の行政サービスをより良いものにするためにも、的確な予算配分や執行を行うとともに、スピード感のある行政サービスを行うためにも、柔軟な組織編成をお願いしたい。

決算を認定

決算認定議決結果				
		※議長は採決に加わりません。		
議案番号	議案名	認定結果	反対者(※)	
認定第1号	令和3年度蟹江町一般会計歳入歳出決算認定について	賛成多数	認定	板倉・中村
認定第2号	令和3年度蟹江町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	賛成多数	認定	板倉
認定第3号	令和3年度蟹江町土地取得特別会計歳入歳出決算認定について	全員賛成	認定	-
認定第4号	令和3年度蟹江町介護保険管理特別会計歳入歳出決算認定について	賛成多数	認定	板倉
認定第5号	令和3年度蟹江町コミュニティ・プラント事業特別会計歳入歳出決算認定について	全員賛成	認定	-
認定第6号	令和3年度蟹江町後期高齢者医療保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	賛成多数	認定	板倉
認定第7号	令和3年度蟹江町水道事業会計の利益処分及び決算認定について	賛成多数	認定	板倉
認定第8号	令和3年度蟹江町下水道事業会計の利益処分及び決算認定について	全員賛成	認定	-

— 討論 — 9月21日に決算審査を行った後、9月27日の最終日に採決を行いました。
令和3年度の各会計決算のうち、賛否が分かれたものについて、討論の要旨をお届けします。

一般会計

反対討論
板倉浩幸

住民の命と暮らしへの支援を要望

歳入については、拡大する格差や貧困を解消するため、税金の集め方、使い方を変えなければいけない。歳出については、交付金や協力金の対象に偏りがある。新型コロナウイルスに対応する総合窓口の設置が必要である。評価できる事業もあるが、総合的に見て、町民の暮らしの応援になっていないと判断する。住民の命と暮らしへの支援を強く要望し、反対する。

賛成討論
水野智見

若い世代の希望をかなえる事業を展開

令和3年度は第5次総合計画のスタートの年度であった。自主財源の根幹である町税は、前年度と比べ微減であるが、収納率は向上している。歳出では、喫緊の課題へのきめ細かな対策を講じ、ポストコロナ時代を見据えたまちづくり、若い世代の希望をかなえる事業を積極的に展開している。今後は、第5次総合計画に沿ったまちづくりを推進することを強く要望し、賛成する。

国民健康保険事業特別会計

反対討論
板倉浩幸

独自の減免制度の拡充を

独自の減免制度の拡充を行い、繰越金などを保険料の引き下げに使うべきと考え、反対する。

賛成討論
石原裕介

収納率の向上に一層の努力を

給付と負担の公平性を図るとともに、収納率の向上に一層努力することを要望し、賛成する。

介護保険管理特別会計

反対討論
板倉浩幸

保険料の引き下げ、利用料の減免を

保険あって介護なしの状況が続いている。介護保険料の引き下げや、利用料の減免を充実させるべきと考え、反対する。

賛成討論
吉田正昭

健全な制度運営を

提供するサービス料や保険給付金、被保険者数は増加の一途である。進む高齢化社会で、健全な制度運営を要望し、賛成する。

後期高齢者医療保険事業特別会計

反対討論
板倉浩幸

年齢により差別する制度に反対

軽減措置が廃止され、低所得者に厳しい保険制度である。年齢により医療給付や健康診断を扱う制度であり、反対する。

賛成討論
水野智見

安心して適切な医療を

コロナ禍で医療への需要は高まっている。高齢者が安心して適切な医療を受けられるよう、健全な制度運営を要望し、賛成する。

水道事業会計

反対討論
板倉浩幸

今こそ水道料金の見直しを

時代に合った料金体系とする努力をするならば、格差社会である今こそ水道料金の見直しができる应考虑、反対する。

賛成討論
石原裕介

安心、安全な水道供給の推進を

水の需要減少、施設の老朽化など、水道事業経営は厳しいが、安心、安全な水道の供給を推進することを要望し、賛成する。

9月

定例会の
あらまし

9/2~9/27

令和4年第3回定例会

海翔高校に関する請願を継続審査に

※令和3年度決算認定議案については、2・3ページをご覧ください。

全員賛成で可決した議案等

議案番号	議案名	内容	可決日
同意第2号	蟹江町固定資産評価審査委員会委員の選任について	現委員の任期が令和4年11月8日をもって満了となるため、以下3名を選任することに同意した。	9月2日
同意第3号	蟹江町固定資産評価審査委員会委員の選任について	・岩田 肇(いわた はじめ)氏(再任:名古屋市中区富田町) ・村松 進(むらまつ すずむ)氏(再任:宝一丁目)	9月2日
同意第4号	蟹江町固定資産評価審査委員会委員の選任について	・関山秀美(せきやま ひでみ)氏(新任:大字今字川東下) 任期は令和4年11月9日から令和7年11月8日までです。	9月2日
議案第40号	表彰について	蟹江町表彰条例等の規定により、下記のとおり表彰する。 ・町政功労者表彰 3者 ・町政表彰 3者 ・一般表彰 16者 (非常勤特別職等多年在職 5者 勤続25年以上 5者 国・県又はこれらに準ずる機関 1者 寄付 5者)	9月27日
議案第41号	蟹江町職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正について	新たに職員になった者について、任命権者などの面前での署名および宣誓を不要とし、任命権者への宣誓書提出のみとする。	9月27日
議案第42号	蟹江町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	非常勤職員の育児休業の取得要件を緩和する。また、男性職員についても、育児参加休暇の取得要件を緩和する。	9月27日
議案第43号	蟹江町消防団設置条例の一部改正について	消防団員の報酬および費用弁償について規定を改めた。	9月27日
議案第44号	小型動力ポンプ付積載車購入契約の締結について	左記契約締結の承認をした。 ※予定価格が700万円以上の動産を購入するには議会の議決を得る必要があります。	9月2日
議案第45号	令和4年度蟹江町一般会計補正予算(第4号)	3623万4千円の増額補正(総額118億4495万1千円)	9月2日
議案第47号	令和4年度蟹江町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	1056万8千円の増額補正(総額36億717万8千円)	9月27日
議案第48号	令和4年度蟹江町介護保険管理特別会計補正予算(第2号)	1億8957万4千円の増額補正(総額28億9285万3千円)	9月27日
議案第49号	令和4年度蟹江町コミュニティ・プラント事業特別会計補正予算(第1号)	161万3千円の増額補正(総額1434万9千円)	9月27日
議案第50号	令和4年度蟹江町後期高齢者医療保険事業特別会計補正予算(第1号)	2232万1千円の増額補正(総額9億4401万円)	9月27日
議案第51号	令和4年度蟹江町一般会計補正予算(第6号)	2億9096万8千円の増額補正(総額122億3686万4千円)	9月27日
発議第2号	保育所等の4歳児と5歳児の配置基準改善を求める意見書の提出について	左記2件の意見書を国宛てに提出した。 ※蟹江町議会では全会一致で採択されたものを提出することになっています。	9月27日
発議第3号	義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書について		9月27日

議案第51号 令和4年度蟹江町一般会計補正予算(第6号) 新型コロナウイルス感染症対策にかかる主な事業

子育て世帯等臨時特別支援事業 1億6059万4千円

(住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金(電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金))

物価・賃金・生活総合対策として、電力・ガス・食料などの価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への負担が大きい住民税非課税世帯、家計急変世帯に対し、1世帯当たり50,000円の給付を行います。

新型コロナウイルスワクチン接種事業 9886万4千円

現在実施している新型コロナウイルスワクチン接種について、オミクロン株対応ワクチンへの追加接種に切り替えます。ワクチン接種券や予診票などの印刷、ワクチン接種事業委託料などが計上されています。

賛成多数で可決した議案

議案番号	議案名	内容	可決日
議案第46号	令和4年度蟹江町一般会計補正予算(第5号)	1億94万5千円の増額補正(総額119億4589万6千円)	9月27日

賛否が分かれた議案の審議結果(○は賛成、×は反対 議長は採決に加わりません。)

議案番号	議案名	議決結果	公明党	日本共産党	立憲民主党	新風			新政会			無会派	無会派	無会派	
			山岸美登利	板倉浩幸	飯田雅広	中村英子	石原裕介	水野智見	安藤洋一	高阪康彦	佐藤茂	吉田正昭	奥田信宏	三浦知将	黒川勝好
議案第46号	令和4年度蟹江町一般会計補正予算(第5号)	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○

討論 賛否が分かれた議案について、本会議で「賛成」・「反対」の討論を行いました。

議案第46号 令和4年度蟹江町一般会計補正予算(第5号)

反対討論
板倉浩幸

利便性が高まると思えない

マイナンバーカードによるオンライン化を進める補正予算であるが、交付率が半分では利便性が高まると思えない。交付率の低い自治体に交付金を出さないという国の姿勢にも疑問があり、反対する。

賛成討論
水野智見

いずれも必要不可欠

計上された事業は、当初予算で見込んだ利用者の増加や燃料高騰に対し増額補正で対応するもの、行政手続きのオンライン化対応などである。いずれも必要不可欠と考え、賛成する。

「海翔高校を存続させるための意見書」提出を求める請願書を継続審査に

請願第1号「海翔高校を存続させるための意見書」提出を求める請願書について、9月8日開催の総務民生常任委員会に付託し、審査を行った結果、「継続審査にすべき」との結果になりました。

9月27日の最終日に委員長報告の後、継続審査とすることについて採決を行ったところ、賛成多数で請願第1号は継続審査とすることに決定しました。

会派名	公明党	日本共産党	立憲民主党	新風			新政会			無会派	無会派	無会派		
	山岸美登利	板倉浩幸	飯田雅広	中村英子	石原裕介	水野智見	安藤洋一	高阪康彦	佐藤茂	吉田正昭	奥田信宏	三浦知将	黒川勝好	伊藤俊一
請願第1号を継続審査とすることについての採決の結果は右のとおりです。 (○は賛成、×は反対。議長は採決に加わりません。)	○	×	○	○	○	○	○	×	議長	○	○	○	×	○

また、採決に先立ち、反対討論・賛成討論を行いました。

反対討論
黒川勝好

はっきりとした態度表明を

県立高等学校再編将来構想の発表から、わずか1カ月で海翔高校の廃校が決定した。継続審査ではなく、直ちにはっきりと海翔高校の存続を求めるという態度を表明する必要があるため、反対する。

賛成討論
吉田正昭

議論できない状態であった

委員会では、紹介議員の答弁はかみ合っておらず、議論できない状態であった。具体的な根拠となる資料の提出を求めていたにも関わらず、それもなかった。委員会として継続審査を望み、賛成する。

反対討論
板倉浩幸

今議会で賛否を問うのがベスト

来年度、生徒の募集があると聞いているが、その先どうなるのかわからず、早急に決めなければいけない。今議会で賛否を問うのがベストであると考え、反対する。

ここが知りたい!

一般質問

8人の議員が町政を問う!

一般質問は、議員が執行機関(町や教育委員会など)に対し、町政全般にわたっての考えや将来などについて説明を求めたり、または、所見をたずねることをいいます。

9月定例会では9月14日に一般質問を行いました。

町議会では、一般質問をしようとするときは、「通告書」を定例会初日の前日の正午までに議長へ提出することとしています。なお、質問の順番は、議長がくじにより決定します。

	議員名(会派)	通告内容
7ページ	中村英子(立憲民主党)	旧統一教会に関わる諸問題について
	山岸美登利(公明党)	健康維持増進について (誰もが安心して健やかに暮らすために)
8ページ	吉田正昭(新政会)	子供たちの学校生活について
	板倉浩幸(日本共産党)	コロナから暮らしを守る対策を
9ページ	石原裕介(新風)	中学生の制服、学校でのプール授業、 舟入小学校の現状と今後について問う
	三浦知将(無会派)	住民と協働のまちづくり
10ページ	飯田雅広(立憲民主党)	病児保育事業の課題解決に向けた提案
	伊藤俊一(無会派)	天王線の安全対策を問う

各議員のページのQRコードを読み取ると一般質問の様子を動画でご覧いただけます。



旧統一教会とのかかわりについて

答／後援名義使用の許可申請があった



動画でCheck!



なかむら えいこ
中村英子
(立憲民主党)

問 安倍元総理にショッキングな事件があった。その後、旧統一教会が問題となっているが、町長や当町に接点があったのか。

政策推進課長

今年4月、旧統一教会の関連団体である「PEACE ROAD(ピースロード)北愛知実行委員会」から後援名義使用申請があった。当時、政治宗教活動を目的

とした団体と認識しておらず、イベント内容で問題がないと判断し、後援名義使用を許可した。その後、イベントは中止となり、申請は取り下げられた。

町長

旧統一教会との関係はない。

問 被害の相談があるのか。

ふるさと振興課長

海部地域消費生活センターにおいて、旧統一教会に関する案件はなかった。役場内でも総合的に確認したが、本案件にかかる相談は1件も受けていない。

問 関係団体の拠点はあるのか。

政策推進課長

北愛知実行委員会の事務局は津島市にあるということで相談に来た。

問 国葬が予定されているが、政府は国民に弔意を求めないと言っている。町長はどう対応するのか。

町長

何らかの弔意を表したいと思っているが、現時点では決めかねている(※)。

※国葬当日(9月27日)は、愛知県の対応にならない、本庁舎に半旗を掲揚しました。

問 教育委員会はどうか。

次長兼教育課長

学校に対して、特に要請する予定はない。

帯状疱疹ワクチン接種の公費助成を

答／課題を整理し他自治体の動向を注視して検討する



動画でCheck!



やまぎし みどり
山岸美登利
(公明党)

問 帯状疱疹^{ほうしん}を発症する人が急増している。予防効果の高いワクチン接種費用を助成する考えはあるか。

健康推進課長

医師会との連携による接種体制確保や公費助成のあり方などの課題を整理し、国や県、近隣自治体の動向を注視し、検討する。

- ス、ウェブでの申し込み
- 4. 町広報・ホームページによる定期的な周知、再勧奨としての個別通知
- 5. インセンティブを活用した健康づくりの取り組みである「キラッとかにえ健幸ポイント事業」



キラッとかにえ健幸ポイント

問 がん検診の受診率が低下している。対策は。

健康推進課長

次の5つの取り組みを実施している。

1. 対象となる検診の種類や自己負担金などを一覧で確認するために、受診券を作成し個別通知
2. 土曜、日曜日の集団検診の設定
3. 町内4か所の受付ボックスの設置およびファック

問 近年、前立腺がんや膀胱がんなどの増加に伴い、尿漏れパットの着用者も増加しているが、捨て場所がない。町内施設の男性トイレにサニタリーボックスを設置してはどうか。

総務課長

当町各施設の既設男性用個室トイレの広さを考慮し、サニタリーボックスの設置に向けて、各施設管理者と調査、検討する。

子どもたちの教育・学校生活について

答／町長部局と教育部局の情報共有をしっかりと



動画でCheck!



よしだ まさあき
吉田正昭

(新政会)

手伝いなど、先生方の業務を援助していただいている。今後も、学校現場からの要望に耳を傾けながら、増員の必要があるかを判断し、検討する。

問 教育があつてこそ、私たちの社会、日常生活がある。教育の向上が蟹江町の将来の発展の源である。子どもたちが健やかに成長する町こそ住みやすい町であ

問 教育も幅広く専門化している。子どもたちの授業の理解や、先生たちの労働環境改善のためにも、外国語担当やスクールサポーターの増員が必要と考えるが、教育長の考えは。

教育長

毎年、スクールサポーター配置などの要望を各学校に聞いている。サポーターの中には、採点業務の

ると考えるが、町長の考えは。

町長

行政側と教育委員会との隔たりができてしまうことをいつも危惧している。町長部局と教育部局でしっかり情報共有することは重要である。

ALT(※)、スクールサポーターについて、他の地域より多く配置できるよう、ニーズがあれば、教育長、教育委員会、学校関係者としっかり協議しながら前へ進めたい。

※ALTとは

Assistant Language Teacher(外国語指導助手)の略です。日本人教員の助手として、生きた英語を子どもたちに伝える役割を持った、英語を母国語とする外国人の先生のことです。現在、蟹江町では、2つの中学校に対し1人、5つの小学校に対し2人のALTを配置しています。

物価高騰での中小業者を支援せよ

答／当町の実態を踏まえた施策を行う



動画でCheck!



いたくら ひろゆき
板倉浩幸

(日本共産党)

健康推進課長

現在、家族による支援や療養施設の利用などとなっている。役場や社会福祉協議会などで相談がある場合は、町の既存サービスやボランティアなどの支援につなげる場合もある。

問 感染者や濃厚接触者の支援制度を作り、相談窓口の設置を考えよ。

問 愛知県のPCR・抗原検査ができない人への検査キット配布の考えはあるか。

健康推進課長

現在、検査キットが不足しているため、町が無料検査を実施することは困難である。

問 感染者への食料支援などの考えはあるか。

健康推進課長

新型コロナウイルス感染症対策本部の事務局である健康推進課が総合窓口になっている。長引くコロナ禍において、支援も様々になっており、各部署との連携を密にして迅速に対応できる体制を構築している。

問 物価高での中小業者を守る支援について、全国の自治体を参考にして町独自の支援を行う考えは。

ふるさと振興課長

他市町村の取り組みを参考にしながら、当町の実態を踏まえて、物価高騰による影響を少しでも緩和できる施策を今後も講じていく。

問 国保の傷病手当金の支給対象を個人事業主まで拡大できないか。

次長兼保険医療課長

当町の傷病手当金は国の補助基準に沿って、個人事業主、フリーランスの方を対象にしていない。国の基準が変更されれば、それに伴い検討する。

今後の教育関連について問う

答／プール授業は発達段階に応じた指導を



動画でCheck!



いしはら ゆうすけ
石原裕介
(新風)

問 今後、中学校制服が詰襟タイプや、セーラー服からブレザーに移行していくのか。

次長兼教育課長

蟹江町PTA連絡協議会、蟹江町小中学校長会を中心に「蟹江町制服検討委員会」を立ち上げ、近隣市町村の動向を参考にしながら、蟹江町の中学生の制服のありかたを検討する。

問 今は、以前に比べプール授業が天候に左右されることが多くなった。老朽化や使用可能年数も考えると、小中学校のプールのあり方を考えるべきではないか。

次長兼教育課長

学校施設の老朽化や少子化などを考慮して、プールの授業については協議が必要であるとする。学習指

導要領にある課題を踏まえ、発達段階に応じて指導することが必要となる。

問 舟入小学校の統廃合について、保護者に意見を聞いたり、アンケートを行ったことはあるか。

次長兼教育課長

平成22年6月に「蟹江町学区検討委員会」を設置した際、保護者の代表である各小中学校のPTA会長に委員の委嘱をした。

平成23年に全小学校区の保護者を対象に意識調査を行った。その結果では、学区の問題について、舟入小学校区の保護者の意識が特に高いことが分かった。また、学区の編成については、舟入小学校区の多くの保護者が学区数をそのままに区域のみを変更することを望んでいるが、その他の学区では、町内全体における学区の再編成がよいのではないかと思っていることが分かった。

住民と協働のまちづくり

答／七宝蟹江線は事業化の見込みの後に



動画でCheck!



みうら ともゆき
三浦知将
(無党派)

問 毎年、名古屋市営バスの近鉄蟹江駅への乗り入れについて、名古屋市港区公職者会から名古屋市長あてに要望書が提出されているが、蟹江町としての動きはどうか。

政策推進課長

名古屋市長あてに要望が提出されたことを受けて、令和3年2月17日に、名古屋市の関係部局と合同会議を開催し、現状、課題の整理、情報

問 令和2年11月11日に町長に提出された、都市計画道路「七宝蟹江線」の延伸についての要望書について、どう対応するか。

次長兼まちづくり推進課長

現在、七宝蟹江線の延伸については、国道1号線南の蟹江町と名古屋市の境界までが計画されている。要望をいただいた後に、名古屋市の担当部局や担当者レベルでの打ち合わせなどを行った。今後、事業化の見込みが立った場合は、町としても線形変更などの調整を図っていくことになると考える。

共有を図った。

その後、定期的に情報共有や意見交換を行っているが、道路の幅員、定時運行の確保の問題などもあり、具体的な方策などの検討には至っていない。今後も、名古屋市と課題の整理、共有を図りながら、町として可能な協力を努める。



近鉄蟹江駅

病児保育事業の課題解決に向けて

答／ファミリーサポートセンターの活用を研究



動画でCheck!



いいた まさひろ
飯田雅広
(立憲民主党)

問 子育て支援の重要な施策である病児保育について、これまでに一般質問で2回、代表質問で2回、予算審議と決算審査でもしばしば質問した。そこで、病児保育事業の

- ①概要は。
- ②利用状況は。
- ③課題は。

次長兼子ども課長

①当町は、病気の回復期に利用可能な病後児対応型として平成31年1月から事業を開始した。年度ごとに事前登録が必要で、事業所での面談とあわせて指定医の健康診断が必要となる。満1歳から就学前児童が利用可能で、平日午前8時から午後4時の間に指定医での受診後、情報提供書持参の上で利用していただく。1回の利用で2,000円の費用負担がある。

②事前登録と実際の利用について、平成30年度は登録6件、利用なし。令和元年度は登録16件、利用1件。令和2年度は登録9件、利用なし。令和3年度は登録16件、利用なし。令和4年度は8月末現在で登録9件、利用1件である。

③開設当初から現在まで、利用登録しても実際の利用につながらないことが大きな課題である。

問 利用率が上がらないが、ファミリーサポートセンターを活用した病児保育の新たなサポート体制を構築してはどうか。

民生部長

ファミリーサポートセンターを活用した保育施設への送迎サポートは、小さな子どもを抱える保護者に大変効果的な事業であると考えられるため、しっかり研究したい。



病後児専用保育室が設置されている
キッズガーデンカリヨンの杜
(宝三丁目)

天王線の安全対策を問う

答／11月のイベントは天王橋を渡るルートで実施



動画でCheck!



いとう しゅんいち
伊藤俊一
(無党派)

問 JR・近鉄のハイキングイベントで天王橋を渡ることができるように対応したか。

ふるさと振興課長

観光協会、鉄道事業者、蟹江警察署と協議した結果、11月開催のイベントは安全対策を行い、天王橋を渡るルートで実施する。

問 祭人の駐車場の有効利用を推し進めよ。

政策推進室長

原則、施設利用者専用駐車場であるが、須成区や敬神会など、須成祭に携わる方々が準備をするにあたり駐車スペースが必要であれば、ぜひ活用していただきたい。



整備された駐車場

問 天王橋に歩道橋か人道橋を設置することについての進捗は。

土木農政課長

道路管理者である愛知県によると、道路拡幅を伴う改修工事を前提に検討するということである。また、事業化については、地元の協力が必要となる。安全性の向上につながる対策について愛知県に要望する。

問 東郊線踏切の拡幅のめどをつけるため、防災建設常任委員会でJRとの交渉を望んだが、拒否された。12月あるいは3月議会でめどをたてるよう要望する。

土木農政課長

今後、JRと協議をする中で、議会としても踏切改良を重要な課題と捉えていることを伝えながら、改良に向けて取り組む。

常任委員会の審査

9月議会で上程された議案・請願のうち、5案件が委員会に付託されました。

9月8日に総務民生・防災建設の両常任委員会を開催し、総務民生常任委員会では1件の請願と3議案、防災建設常任委員会では1議案の審査を行いました。請願については継続審査となっています。その一部をお届けします。

総務民生常任委員会

「海翔高校を存続させるための意見書」提出を求める請願書（継続審査）

問 現在、海翔高校には福祉科がある。津島北高校に統合された場合、福祉科はどうか。

黒川勝好議員（請願の紹介議員）

津島北高校に福祉科が創設される。

問 愛知県のパブリックコメントでは統合に肯定的な意見もある。廃校には相当の理由があるが、どう思うか。

黒川勝好議員（請願の紹介議員）

海翔高校の廃校により海部南部から高校がなくなる。愛知県教育委員会が結論を出すのが早すぎる。廃校とするきちんとした理由を知りたい。

表彰について（全員賛成）

問 タオルが寄付されたが、どのようなものであったか。

総務課長

スポーツタオルのように大きくしっかりとした素材のものを1,100枚、防災用に活用してほしいと寄付された。

蟹江町職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正について（全員賛成）

問 職員のサービスの宣誓について、今回の改正により具体的にどのように変わるのか。

総務課長

行政職員、消防職員ともに、これまで任命権者などの前で宣誓書に署名するとしていたものを、宣誓書を提出するものに改める。

蟹江町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について（全員賛成）

問 今回の改正により育児休業取得がどのように変わるのか。

総務課長

育児休業の取得回数制限が緩和される。現在、1回までであるものが、今回の改正により、原則2回の取得が可能となる。

防災建設常任委員会

蟹江町消防団設置条例の一部改正について（全員賛成）

問 今回の改正により義務規定が課せられることになるが、現場での取り扱いはどのようになるのか。

消防次長兼総務課長

消防団員に対し、報酬を支給するため、義務や責任があると解釈する。正職をお持ちの消防団員はそちらを優先し、従来通り協力できる範囲で協力いただく。

より伝わる議会だよりをめざして

議会広報研修会に参加しました

令和4年8月9日（火）、アイリス愛知で開催された「第35回愛知県町村議会広報研修会」に議会広報編集委員会から、板倉浩幸委員長、山岸美登利副委員長、三浦知将委員の3名が参加しました。

住民の議会に対する関心が高まる中、議会広報の役割は重要です。議会広報のあり方を研究し、より皆さまに伝わる議会だよりの作成ができるよう、今後も努めてまいります。



情報発信の向上に努めます

蟹江町観光交流センター「^{さいと}祭人」

蟹江町観光交流センター「^{さいと}祭人」は、ユネスコ無形文化遺産に登録された「須成祭」をメインテーマとし、町の観光拠点として、観光・産業の振興・交流人口の拡大・地域の活性化を図ることを目的とした施設です。2階に須成祭ミュージアムがあり、映像技術を活用した展示や祭りで使用する道具を展示することにより、須成祭に関する情報を発信しています。昨年7月に寄付された^{まきわらびね}巻藁船の模型は一見の価値があります。



利用者専用駐車場（令和4年7月完成）



国土地理院の地理院地図を一部加工しました。

次回の定例会は 12月2日開会予定

2日（金）開会	14日（水）一般質問
6日（火）2日の予備	15日（木）14日の予備日
8日（木）常任委員会	20日（火）閉会

※議事の都合により日程は変更になる場合があります。

議会放映

クローバーテレビによる放映を行います。

- 一般質問（生放映および当日午後7時から再放映）
- ※放映日から約10日後には、インターネットによる配信も行います。



こちらのQRコードから過去の映像配信もご覧になれます。

寄付行為の禁止

議員は、選挙区内の人（法人、その他の団体を含む）に対して寄付をしたり、挨拶状を出したりすることは禁止されています。また、有権者が議員に対して寄付を求めることも禁止されています。

寄付行為に該当する事例

- ・各種会合への祝儀
- ・祭りへの寄付や差し入れ
- ・開店祝いの花輪やお祝い
- ・お中元やお歳暮
- ・入学、卒業、就職、結婚、出産などのお祝い

みんなで徹底しよう「三ない運動」

- 政治家は有権者に寄付を贈らない!
- 有権者は政治家に寄付を求めない!
- 政治家から有権者への寄付は受け取らない!

編集後記

9月に入り、コロナ感染者の発生状況も減少傾向にあります。引き続き感染予防は続ける必要があります。町の行事も開催しつつあり、町民の皆さんの笑顔が戻ってくることを願い、町議会も一緒になって応援してまいります。また、議会だよりがリニューアルし「町民の声・クイズ」などの参加企画を思考中でありますので、議会・議会だよりなどに対するご意見やご感想をお寄せいただきますよう、お願いいたします。（板倉）

議会広報編集委員会

- 委員長 板倉浩幸
- 副委員長 山岸美登利
- 委員 三浦知将
- 委員 石原裕介
- 委員 飯田雅広
- 委員 吉田正昭



QRコードからもアクセスできます。

ホームページもCheck!

蟹江町議会

検索

令和4年(2022年)11月1日発行
 発行/蟹江町議会 編集/議会広報編集委員会
 〒497-8601 愛知県海部郡蟹江町学戸三丁目1番地
 TEL(0567)95-1111 FAX(0567)95-1525
 URL:https://www.town.kanie.aichi.jp/site/gikai/